

コロサイ人への手紙 #5: キリストに根ざしている
ポー・スターン・ブレイディ
2024年・3月・2日

コロサイ人への手紙 2:6-15

”このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受け入れたのだから、彼にあって歩きなさい。また、彼に根ざし、彼にあって建てられ、そして教えられたように、信仰が確立されて、あふれるばかり感謝しなさい。あなたがたは、むなしいだましごとの哲学で、人のとりこにされないように、気をつけなさい。それはキリストに従わず、世のもろもろの靈力に従う人間の言伝えに基づくものにすぎない。キリストにこそ、満ちみちているいっさいの神の徳が、かたちをとって宿っており、そしてあなたがたは、キリストにあって、それに満たされているのである。彼はすべての支配と権威とのかしらであり、あなたがたはまた、彼にあって、手によらない割礼、すなわち、キリストの割礼を受けて、肉のからだを脱ぎ捨てたのである。あなたがたはバプテスマを受けて彼と共に葬られ、同時に、彼を死人の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、彼と共によみがえらされたのである。あなたがたは、先には罪の中にあり、かつ肉の割礼がないままで死んでいた者であるが、神は、あなたがたをキリストと共に生かし、わたしたちのいっさいの罪をゆるして下さった。神は、わたしたちを責めて不利におとしいる証書を、その規定もろともぬり消し、これを取り除いて、十字架につけてしまわれた。そして、もろもろの支配と権威との武装を解除し、キリストにあって凱旋し、彼らをその行列に加えて、さらしものとされたのである。”

コロサイ人への手紙 2:6-15 口語訳

ここでのパウロの考えは、ほとんど狂乱しているように感じられます...もし彼がこれを声に出して読んでいたら、悪に対する勝利の最高潮に向けて、ますます速く話しているように見えます。そして、彼がこの深く重層的な神学を教えているとき、言葉は渦を巻くことができます。

あなたは死んでいたのです。これはとても不親切です。とても不愉快です。しかし、それは本当です。ここでの死者のギリシャ語の定義には解釈の余地はありません。あなたは死体でした。生気がない。

そして次は何でしょうか？まさに次のことは？そうではありません。- あなたは 911 に電話したり、デフィブマシンに接続したりしました...次に起こることは、神があなたをキリストとともに生かしてくださることです。これがすべて神なのです。イエスのすべての業は十字架上にあります。パウロの文章は冗長なので、考えを明確にたどり、何が何につながっているのかを理解するのが難しい場合があります。この節では、主要な動詞は、節の残りの部分が展開するアイデアです。それでは、そこから始めましょう:

神はあなたを生かしました。

それがこの聖句の要点です。このテーマを中心に、パウロは神がイエスを通してどのように私たちが死者の中から復活させ、自由に完全な人生に導いたかを語り始めます。そこにはこう

書かれています。「神は私たちのすべての罪を赦し、私たちに敵対し、私たちが有罪と定めた法的負債の責任を取り消してくださいました。彼はそれを取り上げ、十字架に釘付けにしました。そして、権力と権威を武装解除して、十字架によって彼らに勝利を収めて、彼らを公衆の面前で見せました。これらの言葉はすべて、神が私たちを生かしてくれたという1つのことについて語っています。そして、これらすべての言葉には、神があなたを生かすために十字架のイエスを通してなされた四つの明確な事柄が含まれています:

1. 神は私たち全員の罪を赦してくださいました

この文では、「すべて」という言葉は「罪」という言葉に属します。彼は私の罪をすべて許してくれました。あなたのすべての罪。誰も除外されませんでした。これは私たちがお互いに与える許しとは異なります。ここでの許しとは、「慈悲」と訳せる「チャリゾマイ」という言葉です...それは、すべての人間を捕らわれの身から救い出し、解放された神の家族に導くために解き放たれる神の愛です。(スコット・マクナイト)

2. 彼は私たちに対して書かれた告訴を取り消しました

Cheirographon = あなたに対して課されている負債について言及した手書きの文書。

この法的負債に関する原文は興味深いものです。債券や原稿のように手書きされたものを指します。これには、支払えない請求書という概念があります。そしてパウロは、この文書は「あなたに敵対し」、「あなたを罪に定めている」と述べています。

学者たちは、この文書が私たちに敵対するものであるかについて議論しています。それは私たちが神に負っている借金なののでしょうか？それは私たちが敵に借りがあるものですか？それは他人に対する私たちの間違いや過ちの記録でしょうか？それは律法や法律のことを指しているのでしょうか？理論はたくさんありますが、私にも理論があり、これらすべてをまとめたものです。

ここで私が心に響く定義は「原稿」です。原稿とは物語です。そして実際、請求書もまた物語です。購入や住宅ローン、あるいはあなたの過去の決断の物語であり、その結果があなたの将来の物語に刻まれます。この文書またはケイログラフインには、あなたが犯した間違いや敵があなたに対して宣告したことによってあなたが負う義務が含まれており、それらの事柄はあなたの永遠に及ぶものです。私たちに立ちどころこの物語の問題...絶望と絶望、そして私たちの不可能な借金と依存症を返済するために絶え間なく働くことについて語るこの物語は、これが私たちの人生や神の民の人生について神が書かれた物語ではないということです。

エレミヤ書 29 章で、神はイスラエルの民に約束しました。私たちはそれをよく引用します。「わたしはあなたたちに対して持っている計画を知っています、と主は言われます。あなたたちを傷つけることなく繁栄させる計画であり、あなたたちに未来と希望を与えることです。」

エペソ人への手紙 2:10 には、私たちは神の作品であり、キリスト・イエスにおける良い行いのために創造されたと書かれています。そして、その言葉「作品は詩の言葉です。神は私たち一人ひとりに好ましい運命や物語を念頭に置いていると私は信じています。ダビデが言った神は、母の胎内で私たちを編み合わせ、世界の基礎が築かれる前から私たちを知っていました...私たちのために計画を立てていたのです。私たちを造り、ご自分が造られたものを愛してくださった父として、イエスが私たちに用意してくださったのは、負債と死、束縛と心痛に満ちた

人生ではありません。それは、他の人だけが楽しむ果物を生産しようと努力し続けることができないルールに縛られている人生ではありません。彼は優れた優れた作家であり、彼の物語を私たちは読むことができます。私たちには自由意志があるので、他のストーリーも同様に利用できます。そして、私たちは常にだまされ、間違っ筋書きと間違っページに生きようになりました。パウロはコロサイ人への手紙で、その文書が私たちに立ち向かい、私たちを非難したと語ります。「反対に立った」= 積極的で攻撃的な抵抗。非難される = 道路上の障害物。私たちは愛や希望や目的に値しないという書かれたストーリーの嘘を受け入れていました。私たちは解放の自由を享受するにはあまりにも多くの負債を負っていたということ。しかし、神はそれをキャンセルしました。これは文字通り、神が私たちの負い目を削り取ったことを意味します。彼は反対に書かれたものをすべて消去した。彼は私たちに対する告訴を撤回して、私たちの救いの道にある障害を取り除きました。そしてそれはこう言います...

3. 彼はそれを持ち去った

ここでも同じ考えですが、用語が少し異なります。ここでの「離れている」という言葉は、存在や近さと呼び起こします。まるでこのストーリーが常に私たちの頭の中を駆け巡り、恥、憂鬱、そして心の痛みを引き起こしているように。しかし神の恵みによって、この非難の声は取り除かれました。物語は書き換えられ、古い物語の記憶は消去されつつある。美しい！神はどのようにしてこれを行ったのでしょうか？それを十字架に釘付けにすることによって。(テイトウルス - 十字架上のサイン - 名前と犯罪。通常、人は非難するために十字架に告発を釘付けしますが、ここでは十字架に告発を釘付けにすることで、その人はその告発から解放されます！(マックナイト) 無実の者が告発を引き受けるイエスは私たちに対する告発を肩代わりしてくださったので、私たちは死の際にそのような罪を経験する必要がなくなります。

4. 彼は彼らを見せ物にする。

今、イエスの救いの働きは宇宙的な次元に移りました。神は権力と権威を武装解除します。彼は彼らを公衆の面前で見せ物にし、十字架上で彼らに勝利します。それぞれのイメージは力を増し、不条理でもあります。なぜなら、神は自ら死ぬことによって暗闇に勝利しているからです。イエスは人類の中に密かに潜入し、内部から死を吹き飛ばします。これらの権力者は誰ですか？学者には多くの意見がありますが、聖書はそれらが当時超自然的で社会的な構造であったことを明らかにしているようです...そしてそれらは今日でも存在します。

”この世の支配者たちのうちで、この知恵を知っていた者は、ひとりもいなかった。もし知っていたなら、栄光の主を十字架につけはしなかったであろう。”

コリント人への第一の手紙 2:8 口語訳

”それから終末となって、その時に、キリストはすべての君たち、すべての権威と権力とを打ち滅ぼして、国を父なる神に渡されるのである。なぜなら、キリストはあらゆる敵をその足もとに置く時までには、支配を続けることになっているからである。最後の敵として滅ぼされるのが、死である。”

コリント人への第一の手紙 15:24-26 口語訳

”万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。”

コロサイ人への手紙 1:16 口語訳

”神はその力をキリストのうちに働かせて、彼を死人の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右に座せしめ、彼を、すべての支配、権威、権力、権勢の上におき、また、この世ばかりでなくきたるべき世においても唱えられる、あらゆる名の上におかれたのである。”

エペソ人への手紙 1:20-21 口語訳

私たちの目には見えない世界があり、その結果の一部は見えますが、それはこの世界よりも現実的です。超自然的な力が働いている

宗教的建造物

知的構造 (-ology + -isms)

道徳構造 (規範 + 慣習)

政治構造

これらの建造物は私たちの世界の周りに足場を形成しており、本質的に悪いものではありませんが、罪は依然としてその中に埋め込まれています。教会。 - 米国 - 私たちは、世界の構造の中で働いている権力と主権の敗北を体現するよう求められています(マタイ 16:18)。どうやって？イエスの道。逆さまに、自分の世界を愛し、自分の神を愛し、自分の敵であるイエスのやり方を愛しなさい。イエスの破壊的で止められないやり方。私たちが神の愛、善意、真実に根ざしているとき、私たちは神が常に私たちの人生に書き綴ってきた物語を生き始めます。

あなたのために定められた日々はすべて神の本に書かれています。あなたの繁栄、つまりあなたの運命に反する別の文書が書かれました。しかし、あなたはその物語の力から救われました。ページから剥がされ、十字架に釘付けされています。十字架は私たちを最高で最も美しい現実へと連れ戻します。

返事: イエスがあなたの人生について書いた真実で美しい物語は何ですか?あなたはそれを生きていますか?別の話が邪魔ですか?恥と非難を神に消し去ってもらいましょう。神が紙にペンを書き、あなたの人生に対する神の計画であった新しいことを明らかにし始めてください。新しいものは古いものです。オリジナルのデザイン。プラン A. 主とその苦しみのか、そして主の復活の交わりを知ること。それはあなたの次の思考と同じくらい近く、あなたの口から出てくる次の言葉は、美しさと強さのまったく新しいプロットラインを開始する可能性があり、この章(およびその後続くすべての章)は「The Gracing」と呼ばれます。」

祈りと祝福